

見学企業: 出光興産株式会社

創造システム工学科 物質・生物系 4年 今野 南々美

出光興産株式会社の見学について

出光興産株式会社を見学した際、最初に目を引かれたのは、会社のすぐ前に線路があったことだった。ここに電車が走っていることに驚いたが、会社の方が「これは製品を運ぶための貨物専用の線路だよ」と教えてくれた。この線路のおかげで、大量輸送やトラックによる輸送費が減っているのではないかと感じた。

次に、会社説明を聞いた。出光はガソリンのイメージが強かったが、燃料油のほかに高機能材、基礎化学品などの5つの事業を行っていた。千葉工場では、燃料油と基礎化学品の2つの事業を展開しており、1日に30,000キロリットルの原油を処理し、原油からプラスチックまでの一貫生産を行っていることが分かった。

そして、車に乗り工場内を案内してもらった。工場は382万平方メートルの広さがあり社員さんはたいてい車や自転車で工場内を移動していると聞いた。工場内はたくさんの配管や高さのある蒸留塔、大きなタンクが並んでおりとても迫力があつた。また、工場内には社員さん達の運動スペースがあり陸上トラックや体育館もあり全国大会にいく部活もあるそうだ。さらに、工場内を走る駅伝大会も行われており、職場でも楽しく充実した生活を送れていることが伝わってきた。

最後に、千葉工場で製造しているシンジオタクチックポリスチレンや液状ゴムなどの基礎化学品が使われているものが展示されている施設を見学した。そこには街のジオラマがあり、赤くなっているものは全部出光興産で作った基礎化学品が関わっているというものだった。建物や車はもちろん橋など街のほとんどが赤くなっていた。そのなかで1番驚いたのは牛までもが赤くなっていたことだ。牛のおならでているメタンガスがでないようにするための餌を作る研究をしているからだそうだ。生活のあらゆるところに、出光興産がかかわっていることが実感できた。

この見学を通して、就職先を選ぶことにおいてどんなこと大切にしたいかや工場内の雰囲気や設備の大切さが分かった。これからは自分のしたいことは何なのか、そのためにはどうしたらいいのかよく考え、今回学んだことを今後に生かしたいと思った。